

記入例

応募申請時の様式1別紙1の記入内容を基に記入すること。変更が無い場合そのまま転記して構わない。

様式第1別紙1-1

採択内示書に記載の **GAJ 事業番号** を記入すること。

GAJ 事業番号: **317XXXX**

ヒートポンプ等を活用した低炭素型農業推進事業実施計画書
(ヒートポンプ等を活用した低炭素型農業推進事業 [低炭素化設備導入事業])

応募申請時と同じ**事業名**を記入すること。

郵便番号を必ず記入すること。また住所は都道府県から記入すること。

事業名	〇〇農協のヒートポンプ導入による低炭素型農業推進事業		
事業実施の団体名	□□□リース株式会社		
事業実施の担当者	事業実施の代表者		
	氏名	事業者名・役職名	所在地
	〇〇 □□	□□□リース株式会社・代表取締役社長	〒123-0001
	電話番号	FAX 番号	E-mail アドレス
	03-1234-5678	03-2345-6789	abcd.efg@hijk.co.jp
	事業実施の担当者 (事業の窓口となる方)		
氏名	事業者名・役職名	備考	
□□ △△	□□□リース株式会社 営業課長		
電話番号	FAX 番号	E-mail アドレス	
03-1234-5679	03-2345-6780	cdr.efg@hijk.co.jp	

事業者名・役職名を記入すること。

事業の主たる実施場所 * 実際に補助事業を行う場所 (図面を添付する)

共同事業者	事業実施責任者			
	団体等の名称	氏名	役職名	電話・FAX 番号
	〇〇農業協同組合	△△ ○○	組合長	03-3456-7890 03-4567-8901
			E-mail アドレス	bcd.efg@hij.co.jp

実施場所の住所を記入すること。

- 応募申請時に添付した資料から変更が無い場合は、応募申請時と同じ資料で構わない。主な添付資料は、
- ④ 補助事業申請者向けハード対策事業計算ファイル/削減効果算出シート
 - ⑤ CO2 削減効果の算定根拠
 - ⑥ 実施場所の図面等
 - ⑦ 設備の仕様書・配置図・システム図
 - ⑧ 様式第1別紙1の記入内容の根拠
 - ⑨ 見積書又は計算書等
 - ⑩ 見積根拠資料
 - ⑪ 低炭素化推進計画

<事業の目的・概要>

【目的】

【概要】

* 補助事業及び導入する設備等の概要 (内容・規模等) を記入する。

<低炭素化に資する環境対策への取組>

* 過去・将来における低炭素化に向けての取組を記入する。

<事業の性格>

【事業の低炭素化に効果的な規制等対策強化の検討との関連性】

* 直近2か年度の1年度当たりのエネルギー使用量を記入する。

【事業の公益性及び資金回収・利益の見通し】

* 補助事業の公益性の性格について具体的に記入する。また、補助事業に関する資金回収・利益の見通しについて、同事業のインシヤルコストのうち自己負担額、同事業による年間のランニングコストの減少額に基づき記入する。

【事業のモデル・実証的性格及び他の農業者への波及効果】

* 補助事業のモデル性や実証的性格について具体的に記入する。

* 補助事業によって、導入する設備の有用性を踏まえ、他の農業者にどのような波及効果が期待できるかを具体的に記入する。

【導入技術の今後の活用・展開の見通し】

* 補助事業により導入する技術について、今後、地域の農業分野における低炭素化の推進に向けてどのように活用・展開されることが期待されるか具体的に記入する。

